

第3回神通川水系流域委員会 議事要旨

開催日時：令和7年8月5日（火） 13:30～15:30

場 所：富山河川国道事務所3F大会議室（Webを併用）

出席者：委員長、委員12名（14名中13名出席）

議事次第：1. 開会

2. 挨拶

3. 出席者の紹介

4. 設立趣意、規約

5. 委員長の選出

6. 議事

（1）流域委員会の進め方

（2）総合水系環境整備事業の進捗状況の確認

（3）今後の予定

7. 閉会

8. 現場

【議事結果】

設立趣意・規約

設立趣意、規約について了承された。

委員長の選出

手計委員が委員長に互選された。

議 事

（1）流域委員会の進め方

意見・質問等なし

（2）総合水系環境整備事業の進捗状況の確認

【瀬・淵の再生】 資料-4 P.11

[A委員]

これから整備される瀬・淵の再生においては、レーザー測量技術を用いることで、瀬・淵の位置を把握できるのではないかと。また、瀬・淵の再生は、環境だけではなく、みお筋固定化の改善など河川本来の課題につながる話である。

[事務局]

現在、三次元測量（グリーンレーザー）により瀬・淵の位置等を把握している。また、整備は河川改修と調整しながら進めることとしている。

[B委員]

土砂移動のプロセスを考えると、掘削土砂を深掘れ箇所に埋め戻してもすぐに元に戻ると考えられるため、上流へ置き土して自然に堆積させる方法がよいのではないかと。

[事務局]

これからの実施箇所となることから、事例を収集し、整備方法を検討していく。

[C委員]

昔に比べると、今は川が浅くなだらかになった。瀬・淵の再生を行うことは良いが、人工的に整備した時に淵や瀬が残るよう適した場所に整備してほしい。

[事務局]

これからの実施箇所となることから、事例を収集し、専門家の助言を踏まえ検討する。また、自然再生懇談会を通じて広く意見を伺いながら進める。

【自然再生事業の進捗状況】資料-4 P. 12

[委員長]

進捗率37.5%との表現は、順調に進んでないようにも受けとれる。

[事務局]

計画どおり進捗しているが、令和29年までの計画に対しての進捗率であることを、わかりやすいように整理する。

【隠れ場の整備】資料-4 P. 14、P. 15

[B委員]

井田川3.0k、井田川5.4kのように、固定砂州の外岸側にブロックを設置した場合は、出水時には掘れて水深が深くなるが、平水時は堆積して浅くなると考えられる。

井田川13.6kでは、ブロックが縦断方向に連結されているが、上流側は水が当たり、深くなる一方で、下流側は堆積すると考えられる。整備後の堆積やブロック数の妥当性等を確認していくとよい。

[事務局]

整備後の状況については、測量等を実施しブロック設置（長さ、幅など）について確認していく。

【幼魚の生息場の整備】資料-4 P. 16

[B委員]

井田川13.0kにおいて、帯工を設置して流れを緩くするのは良いが、水温が高くなる可能性も考えられる。流入水路の河床を低くして、井田川からの伏流水を湧出させるような工夫はどうか。

[事務局]

この後の現地において、現状を確認しながら助言をいただきたい。

[B委員] (現地でのご意見)

井田川13.0kは、流入水路より井田川の方が、河床が低い地形のため、伏流水を湧出させるのは難しいため、現状のままで良い。

[D委員]

水際植生が定着し、隠れ場所ができる点について言及するとよい。

[事務局]

井田川13.0kでは、整備後に水際植生が形成されたことは確認している。この後の現地において助言いただきたい。

[D委員] (現地でのご意見)

井田川13.0kでは、水際植生によるカバーや河畔林によるカバーが形成され、よい環境である。

【環境DNA調査】資料-4 P. 14～P17

[E委員]

整備箇所毎の環境DNA調査は、既往のデータと比較し、評価できるように行っているのか。

[事務局]

整備箇所毎のモニタリングは、整備後5年間実施する予定である。

環境DNA調査は整備後5年間実施し、隔年で既往調査である潜水・採捕を並行して実施することで、既往データと比較・評価できると考えている。

【モニタリング結果】資料-4 P. 14～P. 16

[D委員] [委員長]

モニタリング結果において、確認種数の比較を行っているが、どんな種が増えたのかを把握・比較することも重要である。

[委員長]

水温の整備効果を示すには、対照となる他地点の水温と比較するとよい。

【県との連携】

[F委員] [B委員]

サクラマス産卵場所は、井田川、熊野川の上流の富山県管理区間に存在する。産卵のためにサクラマスを上流にどれだけ遡上させることができるかが重要である。富山県と連携し、連続性を確保して、より上流まで遡上できるようにすることが重要である。

[事務局]

富山県とは、サクラマスの放流等で協働していますので、その都度意見交換をしながら進めていく。

【その他のご意見】

[G委員]

専門用語と解説集は、専門外の者にはとても有用である。専門用語には、フリガナが振られるとよい。

[事務局]

専門用語にはフリガナを振るようにする。

[H委員]

整備後の維持管理が重要である。

[事務局]

隠れ場の整備は、水深が確保され、地形が維持される水衝部に設置することで維持管理を軽減している。井田川13.0kの幼魚の生息場では、地域と協働しながら維持管理を行ってきたい。

【総合水系環境整備事業の点検結果】

[委員長]

引き続き、現計画に基づき自然再生事業を実施することを妥当と判断する。

[他の委員]

了承する。

(3) 今後の予定

意見・質問等なし

以 上